

2023年 の記憶

2023年の宮古島は、
どんな年だったのか？
主な出来事を振り返ります！

4年ぶりの開催！第37回全日本トライアスロン宮古島大会

コロナ禍において中止・延期が続いていた全日本トライアスロン宮古島大会が4年ぶりに開催されました。島全体が熱気につつまれた一日となりました。



脱炭素先行地域として選定

カーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させ、全国のモデルとなる脱炭素先行地域に選定されました。2030年度までに下地地域と狩俣地域の電力の再エネ100%を目指します。同時に、地球温暖化対策に貢献します。

第33回消防人のつどい 第44回沖縄県消防職員意見発表会



県民の付託と信頼に応えるべく消防力を強化充実させていく事を目的に消防人のつどい・沖縄県消防職員意見発表会が開催されました。宮古島での開催は、平成9年10月の平良市開催以来、26年ぶりとなりました。

こども家庭局の創設

妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで切れ目のない子育て支援体制の強化を図り、こどもの健やかな成長を後押しする事業を推進するため、4月に「こども家庭局」を創設しました。

第73回沖縄県植樹祭の開催

「花香る 色彩豊かな やすらぎの森」を大会テーマに、ヤーバーるやすらぎの森で植樹祭を開催しました。約240名が参加し、マニラヤシ9本、サガリバナ175本、ツバキ150本の植樹を行った他、記念苗木としてイヌマキ200本を配布しました。

大盛況！産業まつりと肉まつりが コラボ開催

12月2日、3日に産業まつりと肉まつりが同時開催されました。初開催となった肉まつりのブースでは、地元産の畜産物で賑わい、毎年大人気の姉妹・交流都市ブースにも多くの市民や観光客が会場に訪れ大盛況でした。



熊本県山鹿市との友好都市締結



教育や産業などさまざまな分野で交流を行ってきた熊本県山鹿市と友好都市協定を締結しました。今後も教育、産業、観光、文化、スポーツなど幅広い分野における交流を通して、相互の理解と発展に務めます。

入域観光客数が大幅回復！

新型コロナウイルス感染症による全国的な移動・旅行の制限が緩和されたことで、大幅に回復しました。中でもここ2年と比較して本市への入域観光客は増加しており、2月から11月までの空路入域観光客数は、過去最高を記録しました。

NHKのど自慢開催

NHKのど自慢が6年ぶり開催されました。出場申し込み272組、観覧申し込み1,224人と反響が大きく、前日の予選会も含めて、たくさんの市民がマティダ市民劇場に集い、それぞれの熱唱・パフォーマンスに喝采の連続でした。



宮古島市教育委員会
教育長 大城 裕子

2024年 新年のごあいさつ



「生きる力」を育む ～学校と地域の連携・協働を目指して～

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は宮古島市の教育の充実・発展のために格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の世界情勢を振り返りますと、社会経済活動の正常化が一段と進んだ一方で、世界が大きく揺れ動く出来事が重なり、まさに予測困難な時代を実感する一年でした。世界の至る所で分断が進み、改めて平和の尊さを痛感した年でもあり、子ども達を送り出す社会が、平和で安定した、豊かな社会であるようにと心から願うとともに、平和教育、人権教育にも一層力を入れていかなければならないと感じています。

二〇二四年は、「子ども達の「生きる力」を育むために、これまでの取組をさらに充実・深化させると共に、子どもの未来と日々の成長を支えるため、学校、ご家庭、地域とさらに連携・協働を進めて参りたいと考えています。これからの厳し

い時代を生き抜く力の育成、地域から信頼される学校づくり、社会的な教育基盤の構築等の観点から、学校と地域（ご家庭を含む）はパートナーとして相互に連携・協働していく必要があります。そのことを通じ、社会総掛かりで教育の実現を図る必要があります。市民の皆様には「宮古島市の宝」である子ども達を共に育てていただきますよう心からお願ひ申し上げます。

子ども達の可能性を引き出す教育を目指すとともに、安心して子育てができる環境づくりの一環として、学校給食費無償の継続、選手派遣費補助事業の拡充等にも取り組む、さらなる教育環境の充実に努めて参ります。同時にこれまで取り組んできた、確かな学力の向上、ICTで取り組んできた、確かな学力の向上、ICT活用能力の向上、幼小中連携、特別支援教育の充実にもさらに力を入れ、子ども達の学習環境の整備や教職員の働き方改革と共に主体的な教員研修の充実等にも引き続き取り組んで参ります。

文化振興については国指定重要無形文化財「宮古上布」の後継者育成や魅力発信、宮古馬の保全・活用に加え、八重千瀬の保全と活用に向けても一層力を入れて参ります。また、生涯スポーツ

の振興は勿論のこと、全ての市民が生涯にわたって学び続けられる環境を整えるため、図書館や公民館、総合博物館、歴史文化資料館等の施設を活用した各種講座等の充実を図るとともに文化財の保護と活用も推進してまいります。

本年もご家庭・学校・地域連携のもと、子ども達を育み、市民の心豊かな暮らしを支えられるよう努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、二〇二四年が市民の皆様にとりまして明るく希望に満ちた幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

- 宮古島市教育委員会
教育長 大城 裕子
副教育長 中尾 忠祐
代理者 前泊 直子
委員 平良 智枝子
委員 根間 玄隆